

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 切除不能膵癌における免疫・炎症マーカーの役割についての検討
	研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院肝臓内科または肝胆膵外科において2010年4月から2022年7月までに、切除不能膵臓癌と診断された患者様
	研究の目的 近年、膵癌の罹患数は増加傾向にあり、手術成績の向上や化学療法の進歩を認めるものの、死亡数は全癌種において第4位と未だに予後が不良な疾患です。特に切除不能膵癌は1年生存率が10%弱であり、予後が非常に不良とされています。このような膵癌に対しては抗癌剤治療が中心となりますが、効果や副作用出現を予測する指標はほとんどわかりません。 白血球やCRPなどの免疫・炎症マーカーは膵癌においても予後との関連が報告されていますが、化学療法の成績との関連については報告がほとんどありません。また、緩和治療施行例においても具体的な予後や癌に伴う症状を予測し、適切な対応を行うことは重要と考えます。 当院における膵癌に対する化学療法の成績と免疫・炎症マーカーとの相関について、また緩和治療における予後や癌関連症状との関連についても検討し、今後の治療成績向上に活用したいと考えております。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から(西暦)2023年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>研究に使用する試料・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、家族歴、生活歴 ・身体所見：身長、体重、血圧、脈拍、体温、意識レベル ・臨床検査：血液学的検査(白血球数、好中球数、リンパ球数、単球数、ヘモグロビン値、血小板数)、生化学検査(T.Bil、ID.Bil、LDH、AST、ALT、ALP、GTP、T.chol、ChE、TP、Alb、Amy、BUN、Cre、CRP) ・画像検査：腹部造影 CT 検査、腹部造影 MRI 検査(膵癌の局在、腫瘍径、転移の有無) ・治療内容(選択した化学療法、緩和治療) ・転帰(生存、死亡、副作用発現、治療による完全奏効、部分奏効、安定、進行。) <p>本研究では試料は使用しません。</p>
利用する者の範囲	<p>機関名および責任者名</p> <p>浜松医科大学 内科学第二講座 川田一仁</p>
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	<p>浜松医科大学 内科学第二講座 川田一仁</p>
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
資料の入手または閲覧	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
情報の開示	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 内科学第二講座</p> <p>担当者： 川田 一仁</p> <p>TEL： 053-435-2263</p> <p>E-mail： kawata@hama-med.ac.jp</p>